令和２年度評価シート

≪評価指標ごとの達成状況≫

三重県環境生活部文化振興課

【施策の方向性１】　人材の育成（重点施策）

（ねらい）

これからを担う若い世代が文化にふれ親しみ、理解を深める機会を増やすことで、10 年後、20 年後のみえを担う人間性や「創造力・想像力」の豊かな人材の育成に資することをめざします。また、若い芸術家や文化振興を担う専門人材を育成することにより、みえの文化芸術のレベルアップを図ります。

（取組方向）

次代を担う若い世代（子どもたち、アーティスト）や文化振興を担う専門人材（アートマネジメント人材、ファシリテーター、舞台技術者等）を育成します。

評価指標ごとの達成状況をふまえた総合評価と判断理由		
B	判断理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、事業の中止や規模の縮小を余儀なくされる中、各施設が工夫して事業を実施し、「新たな日常」に対応した取り組みを進めたことや、実施した事業の「満足度」は一定の評価が認められることから「ある程度進んだ」と判断しました。

【評価：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

評価指標ごとの達成状況　※R2 年度実績値は 2 月末現在

評価指標項目	評価指標項目の説明		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
		目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
		実績値	実績値（達成状況）	実績値	実績値	実績値
(1) 文化や芸術の鑑賞・体験事業に参加した児童生徒等の人数と満足度	県立文化施設が実施する児童生徒等の文化や芸術の鑑賞・体験を目的とした事業に参加した人数と満足度 ①人数	目標値	32,400 人	32,400 人	32,400 人	32,400 人
		実績値	**12,230 人 (0.38)**			
	同上 ②満足度（４段階評価で「満足」と回答した人の割合）	目標値	80.0	80.0%	80.0%	80.0%
		実績値	**76.3 (0.95)**			
(2) 文化振興に係る人材の育成を目的とした事業の実施数と参加者数	県立文化施設が実施する文化振興に係る人材（若い芸術家や文化振興を担う専門人材）の育成を目的とした事業の実施数と参加者数 ①実施数	目標値	96 件	96 件	96 件	96 件
		実績値	**55 件 (0.58)**	件	件	件
	同上 ②参加者数	目標値	1,930 人	1,930 人	1,930 人	1,930 人
		実績値	**639 人 (0.33)**			

【施策の方向性２】　歴史的資産等の継承・活用

（ねらい）
今ある文化資源に光りをあて、さらに磨きをかけて次代に伝えることで、県民の皆さんが自らの地域に誇りと愛着を感じられるようにします。

（取組方向）
国史跡斎宮跡などの指定文化財をはじめとしたさまざまな歴史的・文化的な資産や生活文化にさらに磨きをかけて継承するとともに、適切な保存を図りつつ、地域においてより活用されるようにします。

評価指標ごとの達成状況をふまえた総合評価と判断理由		
B	判断理由	「みえには他に誇ることのできる歴史的資産等があり、愛着を感じていると回答した人の割合」は昨年度より微増し、また、「文化財保存活用地域計画に位置付けられた国・県指定文化財数」については数値としては目標値を下回りましたが、本年度に県文化財保存活用大綱を策定し、文化財保存活用地域計画の作成を始める市が増えたことから「ある程度進んだ」と判断しました。

【評価：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

評価指標ごとの達成状況　※R2 年度実績値は 2 月末現在

評価指標項目	評価指標項目の説明		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
		目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
		実績値	実績値（達成状況）	実績値	実績値	実績値
(3) みえには他に誇ることのできる歴史的資産等があり、愛着を感じていると回答した人の割合	e－モニターアンケートにより４段階評価で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」と回答した人の割合	目標値	92.1%	92.1%	92.1%	92.1%
		実績値	**89.7%（0.97）**			
(4) 文化財保存活用地域計画に位置付けられた国・県指定文化財数	地域社会総がかりで保存・活用・継承を図るため、市町が策定する文化財保存活用地域計画に位置づけられた国・県指定等の文化財の数	目標値	40 件	80 件	120 件	160 件
		実績値	**26 件（0.65）**			

【施策の方向性３】　新たな価値の創出

（ねらい）

ものづくりや観光に文化の側面から新たな価値を加え、経済的な活力を生み出します。

また、新たなみえの文化を創造するとともに、広域的に連携することで、みえの文化の魅力を高めます。

（取組方向）

・文化資源を活用することによりデザイン面などの商品開発や観光地のさらなる誘客につなげます。
・グローバル社会の進展もふまえ、多様な文化を受け入れ、交流し、創発する中で新たなみえの文化の創造につながるようなチャレンジを支援します。
・県立の文化施設が県内外の文化施設と展示や調査研究における連携を一層強化します。

評価指標ごとの達成状況をふまえた総合評価と判断理由		
―※	判断理由	「みやこ斎宮を核とした観光コンテンツ事業」で、斎宮歴史博物館を核として､地元明和町や明和観光公社など多様な分野と連携しながら､斎宮の魅力を県内外に発信し､観光誘客につなげる新規取組を実施しました。

※評価指標を令和５年度までに４件以上としていることから、単年度での評価は行いませんでした。

評価指標ごとの達成状況　　※R2 年度実績値は 2 月末現在

評価指標項目	評価指標項目の説明	R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
		目標値	目標値	目標値	目標値
		実績値（達成状況）	実績値	実績値	実績値
(5)文化をものづくりや観光などの多様な分野に生かした新規取組や新たな文化の創造につながる新規取組の実施数	文化振興課や県立文化施設がものづくりや観光などの分野でさまざまな主体と連携し、新商品の開発や観光産業の振興に寄与した取組や新たなみえの文化の創造につながる三重県初の新たな事業や仕組みの数	R5 年度までに 4 件以上			
		1 件			

【施策の方向性４】　情報の受発信

（ねらい）

国内に向けては、みえらしい、特徴的な文化はもちろんのこと、これまであまり知られて来なかったみえの文化の魅力を伝え、また、海外に向けては、日本文化の紹介に併せてみえの文化の魅力を伝えることにより、みえを好きになってもらいます。

さらに県民の皆さんには、日本や世界の文化にふれることで、みえの文化を見つめ直すとともに、文化に対する関心を高めてもらいます。

（取組方向）

・ターゲットとコンテンツを明確にし、それぞれに相応しい手段（広報媒体や事業の展開方法）でみえの文化に係る情報を発信します。

・文化施設における企画展示などにより日本や世界の文化を紹介することを通じて、文化の持つ価値やおもしろさ、奥深さを伝えます。

評価指標ごとの達成状況をふまえた総合評価と判断理由		
Ａ	判断理由	コロナ禍の中、情報発信の強化に取り組み、「文化・芸術情報アクセス数」「「三重の文化」に係るＳＮＳ（Twitter、facebook）による情報発信が閲覧された件数」とも、目標値を上回ったことから「進んだ」と判断しました。

【評価：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

評価指標ごとの達成状況　※R2 年度実績値は 2 月末現在

評価指標項目	評価指標項目の説明	R2 年度 目標値 実績値（達成状況）	R3 年度 目標値 実績値	R4 年度 目標値 実績値	R5 年度 目標値 実績値
(6)文化・芸術情報アクセス件数	県が管理運営するインターネットのホームページ「三重の文化」への月平均アクセス数	123,600 件／月	129,400 件／月	135,200 件／月	141,000 件／月
		159,087 件／月 (1.29)			
(7)「三重の文化」に係るSNS(Twitter、Facebook)による情報発信が閲覧された数	「三重の文化」に係る、SNS(Twitter、Facebook)による情報発信が閲覧された数	45,000 件/月	47,300 件/月	49,600 件/月	52,000 件/月
		54,034 件/月 (1.20)			

【施策の方向性５】　文化の拠点機能の強化（重点施策）

（ねらい）

県立文化施設が施設相互間や市町等との連携を強化する中で、その成果を広く全県域に届けるとともに、より多くの人が訪れ、さまざまな文化に接して感性を高め、文化に新しい息吹を吹き込むことができるような場を形成します。

（取組方向）

県立文化施設は、下に掲げるようなめざす姿の実現に向けて、芸術性の高い場を提供するとともに、おもしろくて、楽しい空間づくりを行うなど拠点機能を強化することに加え、事業や運営における連携を一層強化します。

また、県立文化施設に留まらず、市町や民間の文化施設との連携を一層強化します。

＜県立文化施設のめざす姿＞

・市町や地域との対話・連携を強化することを通じて、地域の文化芸術と学びを刺激し、牽引する中核的な施設

・観覧環境の改善や来館者満足につながる応対を行うとともに、県民の立場から企画立案することを通じて、それぞれの魅力を高め、再び来館していただけるような施設

・それぞれが個々の役割を果たすとともに連携を強化することを通じて新たな魅力を創出する施設

評価指標ごとの達成状況をふまえた総合評価と判断理由		
B	判断理由	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、多くの企画展・公演会等が中止を余儀なくされる中、各施設が「新たな日常」に対応した取り組みを進めたことや、「県立文化施設間の連携に係る取組数等」、「市町等を支援した取組の数」が目標値を上回ったことから「ある程度進んだ」としました。

【評価：A（進んだ）、B（ある程度進んだ）、C（あまり進まなかった）、D（進まなかった）】

評価指標ごとの達成状況　※R2 年度実績値は 2 月末現在

評価指標項目	評価指標項目の説明		R2 年度	R3 年度	R4 年度	R5 年度
		目標値	目標値	目標値	目標値	目標値
		実績値	実績値（達成状況）	実績値	実績値	実績値
(8)県立文化施設の利用者数	三重県総合文化センター（文化会館、生涯学習センター、男女共同参画センター）、県立美術館、県立図書館、三重県総合博物館、斎宮歴史博物館の利用者数の計(アウトリーチ活動の参加者を含む)	目標値	152.3 万人	152.6 万人	152.9 万人	153.2 万人
		実績値	**45.4 万人 (0.30)**			
(9)県立文化施設のウェブサイトへのアクセス件数	県立文化施設（三重県総合文化センター、県立美術館、県立図書館、三重県総合博物館、斎宮歴史博物館）が管理運営するウェブサイトへの月平均アクセス数	目標値	461,100 件/月	478,700 件/月	496,300 件/月	514,000 件/月
		実績値	**342,560 件/月 (0.74)**			

(10)県立文化施設間の連携に係る取組数等	県立文化施設間の連携事業の実施数 県立文化施設（三重県総合文化センター、県立美術館、県立図書館、三重県総合博物館、斎宮歴史博物館）が連携して実施した事業の数	30 件	31 件	32 件	33 件
		34 件 **(1.13)**			
(11)施設利用者の満足度	県立文化施設の来館者アンケートにおける次の項目について、４段階評価で「満足」と回答した人の割合 ①展示内容 ※三重県総合文化センターを除く	77.0%	78.0%	79.0%	80.0%
		71.7% **(0.93)**			
	②説明・キャプション（展示解説パネル等）のわかりやすさ ※三重県総合文化センターを除く	67.0%	68.0%	69.0%	70.0%
		61.8% **(0.92)**			
	③職員の応対（言葉づかい・マナー、対応内容等）	71.0%	72.0%	73.0%	74.0%
		69.5% **(0.98)**			
(12)アウトリーチ活動の参加者数	県立文化施設がさまざまな主体と連携して行う出張講座や移動展示等への参加者数	12,180 人	12,200 人	12,220 人	12,250 人
		5,431 人 **(0.45)**			
(13)市町等を支援した取組の数	県立文化施設が企画展示や公演事業、地域の自然・歴史文化資産の保存活用等を通じて市町や地域の文化団体などさまざまな主体を支援した取組の数	130 件	131 件	132 件	133 件
		143 件 **(1.10)**			